

別紙第六

北京公使館區域回收實施措置要領

昭和十八年二月十七日
大本營政府連絡會議了解

1716

第一方針

北京公使館区域行政權ノ支那側ニ依ル回收ノ實施ニ付テハ租界還付及治外法權撤廢等ニ關スル日本國、中華民國間協定ノ本旨ニ從ヒ大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支處理根本方針ノ趣旨ヲ具現スル如ク其ノ措置内容ヲ定ムルモノトシ回收實施ノ時期ハ本年三月三十日(國民政府遷都紀念日)ヲ目途トス。

關係第三國(伊國、佛國、西國)ヲシテ右ニ同調セシム。

第二要領

措置要領ハ概ネ左ニ準據スルモノトス。

甲、措置内容概定

一、公使館区域行政權

イ、公使館区域行政權ハ協定ニ基キ支那側ニ於テ回收スルコトヲ承認セルニ由リ北清事變ニ關スル最終議定書ニ基ク公使館区域行政權ハ總テ支那側ニ於テ回收スルト共ニ公使館区域行政委員會ハ之ヲ解消スルモノトシ同区域ハ北京特別市ノ行政組織系統ノ中ニ統合セシムルコト。

口 右ニ件七

(1) 道路、溝渠、橋梁、下水道、障壁、隙地等ハ各國共同財産ハ支那側ニ於テ領
移譲ヲ受クルモノトスルコト

(2) 舊公使館區域警察巡捕ハ支那側ニ於テ継承ヲ受タルモノトスルコト

(3) 舊公使館區域行政實施ニ関スル文書類ハ支那側ニ於テ継承ヲ受タルモノトスルコト

三、不動産ニ關スル權利

舊公使館區域内ニ於ケル各國大公使館所屬ノ土地建物及各國人ニ屬スル土地建物ニ關
スル權利利益ノ享受ヲ確保スル爲メ所要ノ措置ヲ講スルコト

三 在住者ノ居住、福祉等

イ、支那側ヲシテ舊公使館區域ニ於ケル施政ニ當リ在住者ノ居住及福祉等ニ付對シ
モ從前ノ程度ヲ維持セシムルコト

ロ、右ニ對應シ各國大公使館並ニ區域内治外法權國人ヨリ治外法權ニ基ク課税問題
ノ處理ヲ見ルニ至ル迄概ネ従来ノ例ニ依ル賦課金額ヲ支那側ニ寄附スル如ク所要
ノ措置ヲ講スルコト

乙 支那側トノ細目取極

公使館区域行政権回收実施ニ関シテハ前記甲ニ概定セラレタル各項ノ趣旨ヲ實現スルコトヲ目的トシ右ノ中、支那側ト協議決定ヲ要スルモノニ付細目取極ヲ締結スルコト

丙 第三國關係

關係第三國(伊國、佛國、西國)ヲシテ公使館区域回收承認及実施細目處理ニ付我方ト同一歩調ヲ執ラシムルコト

(3)

1719